



未来の科学者訪問セミナー

今週の水曜日、山梨大学工学部の桑原哲夫教授にお越しいただき、2年生を対象にした「未来の科学者訪問セミナー」が行われました。▼テーマは「**水溶液でエンターテイメント ～水溶液の性質と自然界の水溶液～**」です。まず初めに、実験からスタート。



ピーカーに入った液体に、ある試薬を注ぐことで、オレンジ色だった液体が真っ赤になったり、透明になったり、ピンクになったり！？「わっ」と歓声が上がリ、理科室は一気に科学の世界に引き込まれました。▼セミナーは続いて水の性質について学びました。水は地球を循環していること、私たちはその一部を利用して生活していること、そして私たち自身の体も約70%が水でできていること。さらには、水溶液には酸性・中性・アルカリ性の性質があり、最初の実験もその性質を利用したものであることなどを教えていただきました。▼ちょっぴり難しい内容もありましたが、桑原先生の楽しくわかりやすい説明に、2年生は目を輝かせながら水溶液への理解を深めていきました。セミナーの最後には、自らの手による「ルミノール反応」についての実験をしました。瓶

に入った液体をもう一方の液体に注ぎ入れると…、なんと液体がライトブルーに輝くではありませんか！？「すごーい！」と、みんな大興奮でした。



▼授業の終わりには桑原先生から2年生に向けて、1965年にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士の言葉を引用したエールが贈られました。▼『**不思議に思うこと。それが科学の「芽」です。よく観察して確かめ、そして考えること。これが科学の「茎」です。そうして最後に謎が解ける。これが科学の「花」です。自身の芽を見だし、茎を育て、花を咲かせましょう。**』▼この日のセミナーをきっかけに、改めて科学の面白さに気づくことができました。「未来の科学者訪問セミナー」の名の通り、この授業をきっかけに三珠中から将来、科学者が出るようなことになるかもしれませんね。桑原先生、そして研究室のみなさん、貴重な学習の機会を本当にありがとうございました。

予告なし避難訓練



火曜日の清掃の時間、予告なし避難訓練を行いました。学校では火災や地震、不審者の侵入など予期せぬ事態に備えて避難訓練や防災学習を行っています。▼この日の避難訓練の設定は、下の図のように職員室から出火、火災が発生したというものでした。授業終了後の清掃中ということでクラスがばらばらになり、各自が掃除分担に散らばっている状況で、いかに危険を避け、安全な場所に避難できるかを試してもらいたいと考えました。▼図中の★印の職員室西側のランチ



ルームを清掃していた人たちは、職員室前廊下を通ることができなかつたため、すぐに外につながる出口がなく、窓から避難することになりました。



▼火災発生放送から間もなく校庭西側に全校生徒が避難することができました。しかし、気になったのは『どうせ訓練だから……』という雰囲気を感じられたことです。確かに火の手はあがっておらず、危険性のない状況ではありましたが、万が一の時に何よりも大切な命を守るためには、まずは今回のような訓練に真剣に取り組むことが大切です。▼訓練終了後、教室に戻って振り返りを行いました。どの学年も真剣に振り返りプリントに向き合っていて、例えば反省点はあっても、しっかり反省して次回に生かそうとする姿勢を見て、改めてこの訓練を行って良かった



と思いました。▼3学期もみなさんのためになる訓練を企画・実施したいと考えています。「自分の命は自分で守る力」を訓練を通してつけていきたいと思います。